

SOWER

特集 聖書と沖縄 ベッテルハイム来沖150年



ソア=種まく人
No.8
June 1996
財団法人
日本聖書協会



神のことば
すべての人の
希望

聖書を贈りましょう

いつでも、どこにでも持て行ける



写真: Ni34HV

ハーフボリュームバイブル

新共同訳 中型聖書

Ni34HV 定価: 2,200円(税込)
Ni34HV(白) 定価: 2,200円(税込)

新共同訳

中型聖書 旧約聖書続編つき
Ni34DCHV 定価: 2,600円(税込)

好評発売中!

新共同訳 絵本聖書 装い新たに登場

幼稚園・保育園・教会学校の教材に最適!

発売予定

- 5月 ザアカイ／しんせつなサマリア人 (5月20日発売予定)
- 6月 ノアのはこぶね／ヨナ (6月20日発売予定)
- 7月 ダビデ／かえってきたむすこ
- 8月 あらしをし始めたイエスさま／よみがえられたイエスさま
- 9月 しゅつエジプト／イエスさまとおでしさん
- 10月 せかいのはじめ／イエスさまのたんじょう

定価 各824円(税込)



財団法人 日本聖書協会

〒104 東京都中央区銀座4-5-1 電話 03-3567-1987 (ダイヤルイン) FAX 03-3567-4436

●ご注文はお近くのキリスト教専門書店、または全国の書店へ
(直接当協会にご注文戴く場合、別途に荷物料金がかかります)

●カタログ請求、お問い合わせは左記まで

SOWER
ソア No.8

1996年6月1日発行 [年2回6月・12月発行]

発行・財団法人 日本聖書協会 〒104 東京都中央区銀座4-5-1 電話 03-3567-1980 振替 00160-2-18410



この雑誌は
エコマーク認定の
再生紙を
使用しています

新聖書の世界⑧

写真／文 横山匡



少年ダビデが、ペリシテの巨人戦士ゴリアートを小石一つで打ち倒したのが有名な「エラの谷」です。

ユダ山地と海岸平野の間に広がるシエラーと呼ばれる丘陵地帯にあり、ふだん水の流れない谷には、ダビデが拾った滑らかな白い小石がたくさん見られます。

写真は、テル・アゼカからの眺めですが、左手遠景に見えるバラボラアンテナあたりから、右手に下っているのが「エラの谷」です。春は、アネモネやシクラメンなどの草花が咲き誇ります。またベリシテ軍が集結したと書かれているテル・ソコは、野生のルビナスの群生地で、大変美しい丘です。

今年は、ダビデがエルサレムに都を定めて三千年目の記念すべき年です。

● サムエル記上一七章

CONTENTS

Sower
No.8
1996

2 聖書と沖縄

特集
ベツテルハイムの伝道と聖書翻訳
石川政秀

5 沖縄・戦争・キリスト教

7 現代のベツテルハイム

佐藤邦宏

9 聖書協会世界連盟（UBS）世界大会
「神のことば　すべての人の生命」

佐藤邦宏

10 金縫「聖書と女性」

エッセイ
歴史撮写
バイブル・パン
田辺元明

13

聖書図書読書シリーズ——
ベツテルハイム訳聖書

原 喜美

沖縄キリスト教短期大学学長

卷頭聖句

神の業がこの人に現れるためである。

(ヨハネによる福音書 9章3節)

この聖句は、私に見神の経験を得させ

入信に導かれたものである。苦しみと悩みの中に呻吟していたときに稻妻のように、私の頑なな心を打ち砕き、神の愛を知らしめてくださったみ言葉である。私は常にこの聖句を、深く心に刻んで、神の愛に感謝している。数年前、フィリピンのピナツボ火山の大噴火で被災した幼い子どもたちが、助けを求める声を聞いたとき昨年スウェーデンのゴスペル・シンガー、レーナ・マリア・ヨハンソンさんの歌声に接し、その生きる姿に触れたとき、また私の周囲で大きな障害を背負ってたくましく生きる方々に出会うとき神の栄光の現れに心を打たれる。私の内面に変化が起こり「善き心」がよみがえるのである。イエス・キリストの十字架の死により永遠の生命に入れられる恵みとは、このことであると信する。

原 喜美

沖縄キリスト教短期大学学長

古戦場「エラの谷」

Bible Verse & Essay by Hara Kimi

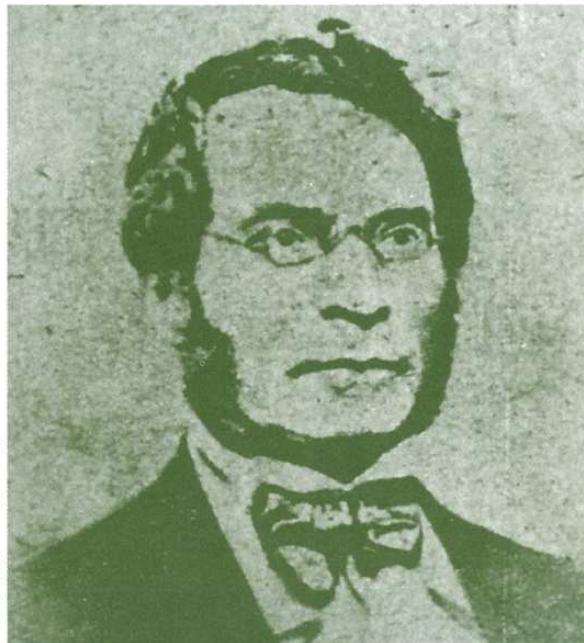
The World of the Bible "Valley of Elah" / Photo & Essay by Yokoyama Tadashi

聖書と

ベッテルハイム 沖縄 来沖150年



那覇市の護国寺境内にあるベッテルハイム記念碑 写真提供／石川政秀



バーナード・J・ベッテルハイム

ブレスブルクに生まれたユダヤ人であったが、向学の志あつく、オーストリアのウィーンで学び、さらにイタリアのパドヴァ大学で医学を専攻し、博士号を取得した。その後彼はトリエステ、ノジーナ、ナボリ、シシリア、マルタ、ギリシア、ブルガリア、イスタンブール、マグネシア、スマルタ等を転々としたが、その間十三か国語を習得した。彼の専攻した医学上の業績としては、コレラ伝染病の患者がひどい下痢症状で腹痛を繰り返して死亡す

る例から、患者に飲料水は必ず煮沸した水を一時間に二リットル以上飲ませること、スルファミド剤を与えるように提案したことである。この治療法は現在でもバルカン半島で用いられているそうである。

彼は、スマルタ滞在中にイギリス聖公会のウェーリアム・ルイス司祭からイタリア語の聖書、フランス語の祈祷書をもらってキリスト教信仰に触れ、間もなくルイス司祭より洗礼を受けられた。当時ヨーロッパ社会では敬虔主義運動で世界宣教熱が強く、彼は一八四〇年ロンドンへ行き、聖公会系の神学校へ入学した。同学の友としてはアフリカ探検家ティヴィッド・リビングストンがおり、共に未開地伝道を語り合っていた。彼自身としては三年間オックスフォード大学、ケンブリッジ大学などで神学研究をするつもりであったが、宿志を果たすことはできなかつた。またユダヤ人であるがゆえに按手礼も受けられなかつたので、医師兼宣教師の役職をもつて琉球に派遣されたようである。ロンドンで学んでいた頃、病院看護婦をしていたエリザベス・バードウイックと知り合い結婚、間もなく長女ヴィクトリアが生まれた。彼女の実家は裕福な製菓業者であつたため生涯その支援を受けた。

一八四三年二月、イギリス海軍伝道会が琉球の心温かき人々へ福音を伝える趣旨で組織され、クリフォード大尉の呼びかけで六百ボ

ベッテルハイムの伝道と 聖書翻訳 石川政秀

一八四六年五月一日、イギリス海軍琉球伝道会から派遣された宣教師のベッテルハイム一家が那覇港に上陸したとき、彼らには予期せぬ苦難と迫害が待ち受けていた。八年に及ぶ彼の滞在は、琉球王府の拒絶にあり、あるときは島民から暴行を受け、ベッテルハイム家からは銀貨が盗まれたりした。琉球王府は再三清国皇帝に彼らの退去を求めた。これがイギリスと琉球の外交問題ともなつた。彼の滞在中受洗した者は数人（教会側の伝承では三人）、琉球大学の照屋善彦教授によれば最初の信徒四人と四、五十人の求道者がいたようだ。それらの人々は、大工、職人、雇用作りなどの職人が多いが、役人のたび重なる妨害工作にもかかわらず、地位の高い役人まで入信したようである。

琉球王府が彼ら家族の滞在先にあてた所は波ノ上護国寺で、入口に番小屋を作り、四五人の通事を置いて當時彼らの行動を監視さ

せた。一八四六年（道光二六年）は、折しも日本近海に英仏露の軍艦の来航が激しく、一八四〇年から二年間続いたアヘン戦争はイギリス海軍の勝利に終わり、清国政府は南京条約を締結し、香港島の割譲、五港開港、二千万ドルに上る賠償金を要求された。

清国の敗戦は日本の幕府と薩摩藩に大きな衝撃を与え、ここに琉球問題の処理をめぐつて、幕府は島津齊興（なみぶひでのりおき）・斎彬親子に一任した。しかし宣教師のもたらす清国情報には最大の関心を寄せている。当時香港で発行された『チャイニーズ・デボジタリー』誌、「可児貴珍」誌はいずれも欧米の宣教師の編集発行したもので、長崎出島から送られる「オランダ風説書」よりも迅速かつ正確に東アジア情勢を伝えていた。琉球側の通事板良敷（後に牧志）朝忠をはじめ薩摩役人岩切英助も彼らに接触し、情報を薩摩を通じ徳川幕府側に送っていた。ベッテルハイムは一八一一年ハンガリーの



いかに歴史的な働きをしたとしても、必ずしもその働きが報われるわけではない。琉球語の聖書翻訳と東洋伝道に生涯をかけたベッテルハイムもその例外ではなかつた。一九九六年五月一日、彼の来沖から百五十年の月日が流れた。琉球語聖書の翻訳にかけた彼の生涯をお届けしたい。



ンドの年間募金額を決めた。同年四月には三百十ボンドが集まり、ベッテルハイム宣教師一家を一八四年九月琉球へ派遣した。彼らが香港へ着いたのは一八四六年一月二十二日である。彼は当時香港政府に通訳官として勤務していたギュツラフ宣教師を尊敬し、彼の家で数か月間中国語を学び、中国で活躍する宣教師と知り合つて彼らから多くの影響を受けている。彼自らをギュツラフにならつて伯徳令と称したものそのためであろう。ドイツ人宣教師ギュツラフは日本人漂流民から日本語を学んで、一八三七年にシンガポールでヨハネ福音書の日本語訳を出版していたので、彼もいつの日か、日本から琉球で新約聖書の日本語訳を翻訳しようと決心した。地球の果てまでイエス・キリストの福音を伝えるには、聖書翻訳と現地語の説教は欠かせない。

一八四六年五月、琉球へ着任以来彼ら夫妻は熱心に宣教し、昼夜漢訳パンフレットの琉球語訳、あるいは英語のジェームズ王欽定訳の一部を現地の人々に分からせようと路傍説教を始めたが、猛烈な役人の反対にあって挫折した。彼の琉球語訳聖書の翻訳事業も激しい妨害工作の結果生まれたものと考えられ、彼のもとへ詰める通訳官たちから日本語を学び、一八五一年九月までにマタイ、マルコ、ルカ、ヨハネの福音書を訳し終えたようである。

ちなみに、ヨハネによる福音書三章一六節を新共同訳と共に掲げると

ケダシ シヤウティ セカイノヒト タシカニ カナシャシ、ウマラキヤイルヒトリム スコウタビ、スペテカレンカエ シンズルモノワ ウシナカン、カギリナイラニイ ノチ エラシソルタメニ。

(神は、その独り子をお与えになつたほど人も滅びないで、永遠の命を得るためである。)

この訳文から見ると神をシャウ（ノ）トイと呼ぶあたりは漢訳聖書の影響であろうが、漢訳をベースにして「上帝」あるいは「聖神」と訳している点は、後年の日本聖書協会訳に一步近づいている。(海老澤有道著『日本の聖書』)

一八五二年九月、琉球役人が彼の翻訳事業を手伝つているとの情報が在番奉行の野元一郎の耳に入り、諸役人一同は始末書を書いて那覇里主所(現那覇市役所)に提出するよう命じられた。ルカによる福音書中に漢訳も混じっているのは、協力者が少なくなり、自信がなくなつたためだろう。彼は五年間で

「琉球語文典」を書き上げ、琉球語が日本語の姉妹語であることを指摘し、喉頭破裂音W、Yなどが存在していることを強調した。彼の訳本は一八五五年に一部が香港で(琉球語訳)、一八七三年、彼の死後、一部(和訳)はオーストリアで出版されたが、その翻訳はヘボン博士らの日本語訳の参考にはならなかつた。しかし琉球方言を世界に紹介し、日本の中に多様な地方語のあることを知らしめたことは、彼の功績と言つべきだろう。

(元沖縄大学教授、那覇中央教会会員)

沖縄・戦争・キリスト教

編集部



和訳「路加傳福音書」 ウィーン 1873年(聖書図書館所蔵)



漢和対訳「路加傳福音書」 香港 1858年(東京神学大学所蔵)

イギリス海軍のバジル・ホール大佐は、一八一六年に沖縄を訪れた。その帰途、彼はゼントヘレナに流刑の身であつたナポレオンを訪ね、琉球には武器がないという話をした。ナポレオンはひどく驚いて、「この世界に戦争をしない者がいるとは不思議千万だ」と言つたと伝えられている。

沖縄は、先祖を敬う土着信仰が根付いていた。かつて人々は、武器を持たず平和に暮らしていた。琉歌を詠み、サンシン(蛇皮線)の調べに合わせて歌い、踊る。この良い伝統は、戦後の騒々しい時代にも受け継がれ、人々の心を慰め、ゆるやかな沖縄の文化を育てた。

恒久平和を願う趣旨で建てられた礎には、国籍や軍人、非軍人の区別なく、沖縄戦で亡くなられたすべての人々の氏名が刻まれている。刻まれた人の名は二十三万四千名を越え、約六十三パーセントは、沖縄出身の人たちである。この「平和の礎」が、訪れる者の平和学習の場となると同時に、安らぎと憩いをもたらす場となることを願わざにはいられない。

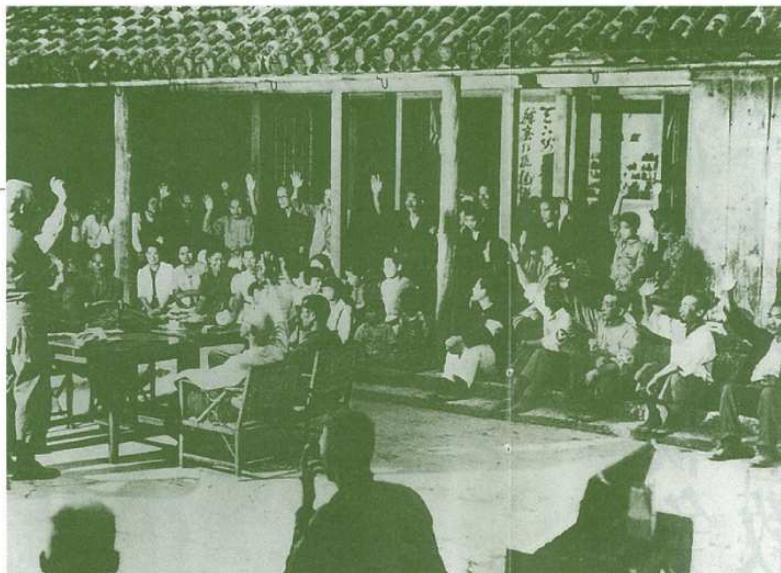
日本聖公会沖縄教区の北谷諸魂教会(中山真司祭)は、沖縄戦で亡くなられたすべての人々の名前を、祈りつつ読み上げることを計画した。この教会は戦後、アメリカ聖公会の宣教師が米軍基地の外にも英語教会が必要と考え、献堂された。所属の教会員は、アメリカ兵一万四千人のすべての戦没者の名前を四月一日から六月二十三日まで、八十日間にわたつて、たくさんのボランティアが参加して読み上げた。参加者は、命の重みを実感し平和をアピールしていく思いを新たにされた。このニュースは、世界中の聖公会の教会に流され、イギリスのテレビでもこの模様が放映されたという。

この戦争で沖縄は、国内唯一の住民を巻き込んだ地上戦の場となつた。一九四四年十月十日、早朝から、おもに飛行場、港湾施設や船舶が猛爆を受け、那覇市が集中爆撃を受けた。実際に九十パーセント(約一万軒)五万人の市民が、焼け出された。

最初期の上地教会 1945年4月
写真提供／吉村潔子

現代の ペツテルハイム

佐藤邦宏
日本聖書協会 総主事



一五四九年八月十五日、鹿児島に到着し、日本に初めてキリスト教を伝えたフランシスコ・ザビエルは、一五四七年マラッカで初めて出会った日本人ヤジロー（薩摩藩士であつたと伝えられている）の助けを借りて翻訳した「マタイ福音書」を持ってきたとも伝えられている。また、日本宣教を折り続けたギュツラフは、三人の漂流船員の助けを借りて、一八三六年マカオで翻訳し、三七年シンガボールにおいて木版刷りで「ヨハネ福音書」と「ヨハネの書簡」を印刷出版した。

まだ、日本は鎖国の時代であったが、日本の存在を知り、日本人に自らの言葉で聖書を読んでもらいたいと祈り、願つた人たちがいたのである。これらの聖書が、本格的に日本へ届いたのは、一八五九（安政六）年、日本が開港して後のことである。

伝道の始まりは、聖書翻訳からである。その聖書が読まれ、そして教会が誕生する。これがキリスト教伝道の歴史の典型的な形である。ザビエル、ギュツラフ、ウイリアムズ、そしてペツテルハイムも、まさに聖書翻訳により日本宣教のスタート台に立つた。以来、我が國でも聖書が読まれ、人々がキリストを信ずるようになり、教会が建てられた。こう

一九四五五年三月二三日、沖縄本島はじめ宮古、八重山、奄美大島などが猛烈な空襲に見舞われた。四月一日、ついに米軍は沖縄に上陸した。約千三百隻の艦隊が読谷、嘉手納海岸に殺到、仮借ない艦砲射撃が始まつた。県の四人に一人の命が奪われ、かけがえのない文化遺産を失つた。

戦火のさなか、一九四五五年四月二十九日の日曜日、日本キリスト教団上地教会（現山田忠牧師）の最初の主日礼拝が守られた。一九三〇年頃、米国メソジスト派の一宣教師が日本への旅行の途中、沖縄に立ち寄つた。その時、中頭郡中城村島袋の二人の人にキリストの福音の種が蒔かれた。教師の喜納昌盛と区長の仲村孟順の両氏である。四月一日の米軍上陸後、四月三日には島袋住民は隣村の住民らと共に捕虜として収容された。喜名昌盛氏は、人々の心が非常に荒れてしまつているのを知り、神の言葉以外にこれを癒す道がないことに気がついた。彼は自ら米軍チャップレン・ハイラーより受洗し、初めて島袋で教会らしい集会が持たれるようになつたのである。

九三〇年頃、米国メソジスト派の一宣教師が日本への旅行の途中、沖縄に立ち寄つた。その時、中頭郡中城村島袋の二人の人にキリストの福音の種が蒔かれた。教師の喜納昌盛と区長の仲村孟順の両氏である。四月一日の米軍上陸後、四月三日には島袋住民は隣村の住民らと共に捕虜として収容された。喜名昌盛氏は、人々の心が非常に荒れてしまつているのを知り、神の言葉以外にこれを癒す道がないことに気がついた。彼は自ら米軍チャップレン・ハイラーより受洗し、初めて島袋で教会らしい集会が持たれるようになつたのである。

うに聖書の朗説を繰り返し、宣教師に教えられた二つの讃美歌を歌い、自発的に祈り、その後、社会問題について討論した。そして彼らは、いつも聖書の中にそれらの問題の答を探した。この集会は、捕虜民が島袋から福山に移動させられる一九四五五年六月二十八日まで続けられた。

福山の定められた地区に移された島袋住民は、約十ヶ月の間共同生活を送つたのであるが、この地においても礼拝を守り続けた。島袋時代からの米軍チャップレン・ハイラー及びルニアン、ワグナー、仲里朝章牧師等の働きのもとに伝道が活発になされた。出席者は合計で約百名であった。聖書を持っていないなかで、彼らに、絵表紙の聖書が、川崎マリン隊長（マリン）から贈られた。

専任教師を与えられず、多数の人々が教会から離れていたが、教会は存続した。一九五三年九月六日に、牧港軍部隊より払い下げられたコンセット（かまぼこ兵舎）を買い受けた。

この世に来られたイエス・キリストは、私達に平和を実現する者になるよう呼びかける。四十周年の連邦会議で「過去に目を閉ざす者は結局のところ現在にも盲目となります。非人間的な行為を心に刻もうとしない者は、またそうした危険に陥りやすいのです」と演説した。沖縄戦の悲劇は、私達に平和の尊さを学ばせる。沖縄の平和運動のキーワード、「命ど宝」（命こそ宝）は、自分の命ばかりではなく、他者の命をも尊重することを求める。キリスト者は神から、平和を創造する光榮な業へと招かれている。平和があつてこそ、人間らしく生きることができ、すべての価値観、文化、宗教をこえて手を結ぶことができるのではないだろうか。

けて教会堂が献堂された。「神が支配し給もう高き地」という意味で「上地教会」と名づけられた。その間に、多くの宣教師や牧師の援助のほかに、聖書普及員の嫌田吉平氏や東京神学大学の有沢つぐ年神学生らも休暇を用いて協力した。

戦中、戦後のキリスト教会の歩みは、沖縄に限らず厳しい困難な歩みであつたに違いない。教会に集う人々に与えられた聖書の言葉は、眞の福音として受け止められ、生きる希望と喜びになっていく。「平和の君」としてこの世に来られたイエス・キリストは、私達に平和を実現する者になるよう呼びかける。ドイツのヴァイツゼッカー前大統領は、敗戦四十周年の連邦会議で「過去に目を閉ざす者は結局のところ現在にも盲目となります。非人間的な行為を心に刻もうとしない者は、またそうした危険に陥りやすいのです」と演説した。沖縄戦の悲劇は、私達に平和の尊さを学ばせる。沖縄の平和運動のキーワード、「命ど宝」（命こそ宝）は、自分の命ばかりではなく、他者の命をも尊重することを求める。キリスト者は神から、平和を創造する光榮な業へと招かれている。平和があつてこそ、人間らしく生きることができ、すべての価値観、文化、宗教をこえて手を結ぶことができる。

して聖書は人々に新しい生命を与え、社会に積極的な影響を与えることになったのである。そして、今も、世界中でギュツラフや、ペツテルハイムのような人々が活躍している。

一九五五年末の統計では、現在、世界に一二三の言語で翻訳された聖書が存在する。それに加え、現在六八一の翻訳作業が進行中で、その内四五六はまだ聖書が翻訳されたことのない言語への翻訳作業である。アジアでは三七〇の翻訳作業の内、実に二五九が新言語への翻訳である。これらの作業は、聖書協会だけが行うのではない。二三九の教会や団体が世界中でこの働きを続けてるのである。また聖書が翻訳されたことのない新言語への翻訳はどうにするのだろう。かつてギュツラフや、ペツテルハイム、そしてヘボンなども同じ経験をしたはずである。それらの言葉には辞書も無いので、言葉の収集から作業は始まる。一つの例を紹介しよう。ヒマラヤの高山のふもとに住む約二万人の人たちは、カリン語という独自の言語を話す。一九七〇年代、彼らの社会に入った宣教師たちの働きによってクリスチヤンが誕生した。それは少數であり、宣教師たちの働きは困難を極めた。しかし、クリスチヤンたちは、「この辺境の地にキリストが来られた」とあかしして、その信仰を守つたという。ある聖書翻訳のグループの鳥羽季義氏は、最近カリン語新



神のことば すべての人の生命

聖書協会世界連盟(UBS)世界大会

聖書普及事業を、私たちの子々孫々にまでスムーズに継続させるために、聖書協会の財政的安定を欠かすことではできません。一方で、少しでも多くの方々に聖書を手にしていただきためには、聖書の便読ができるだけ求め易いものにしなければなりません。この矛盾する課題を解決するのは容易ではありません。

聖書の便読に、スタッフの入件費をできるだけ反映させず、人件費を設定し

一九九六年九月二十六日から十月三日まで、カナダのトロントで、UBS世界大会が開催されます。八年に一回開催される前回の大會の会場は、一九八八年ハンガリーのブダペストでした。当時の壇上に、ソ連をはじめ東欧諸国教会の代表が並び、連帯を表明しました。その翌年、ベルリンの壁が崩壊したのです。今回は、中国をはじめインドシナ半島諸国、キューバなど、つまり旧社会主義諸国からも代表者が招かれていますから、また世界的な変化を見ることができそうです。

一九九六年九月二十六日から十月三日まで、カナダのトロントで、UBS世界大会が開催されます。八年に一回開催される前回の大會の会場は、一九八八年ハンガリーのブダペストでした。当時の壇上に、ソ連をはじめ東欧諸国教会の代表が並び、連帯を表明しました。その翌年、ベルリンの壁が崩壊したのです。今回は、中国をはじめインドシナ半島諸国、キューバなど、つまり旧社会主義諸国からも代表者が招かれていますから、また世界的な変化を見ることができそうです。

約聖書の翻訳を完成した。その日、村は大騒ぎ。我先に新約聖書を求める姿が、奉獻式に溢れたという。この日から、教会に属していない人たちの間にも、彼らにとつて初めての文書となつた聖書を通して、クリスチヤンへの理解や、関心が急速に進んだとのことです。彼らの一日の収入に近い五十円（日本円換算）で売られた新約聖書は、実は、千円以上の製作費がかかつている。この翻訳は、言語の収集、辞書作り、文法の分析からその作業は始まり、二十五年の歳月が必要であったと報告されている。

聖書協会世界連盟のアジア太平洋地区には、十八名の翻訳コンサルタントがいる。彼らは直接あるいは間接にこれらの翻訳作業を支援を進める団体との協力も強化されている。山岳地帯で翻訳作業をしているある翻訳コンサルタントは、峠を越える途中馬がパソコンもろとも谷底へ落ちてしまったという。南太平洋の島々ではスピードボートで島を駆け回る。翻訳作業も危険と隣合わせの働きだ。これら現代のベッテルハイムたちはパソコンを駆使し、それぞれの翻訳作業にかかわっている。コンサルタントは翻訳に取り組む數十人の翻

訳者たちを励まし、翻訳の一日も早い完成をめざして、それこそ家族もろとも希望をもつて危険や病気等あらゆる困難と戦っている。私は、聖書協会世界連盟アジア太平洋地区の理事会の翻訳小委員会の一員として、これらコンサルタントたちの活動費、人件費等にかかる立場にあり、彼らの報告を目的とする機会が多いが、それは驚きと感動の連続である。彼らの聖書の言葉への献身、聖書学、言語学者としての熱心な研究、それは言葉に言いたい表せないほどだ。

彼らの働きの直接、間接の費用、それに翻訳が完成した聖書製作の支援などだけで、七億円ほどの資金が、毎年、聖書協会世界連盟で募金されている。中には、キリスト教を認めていない国もある。また、認められていても、公然と活動するのに困難な国もある。しかし、これらはあのベッテルハイムやヘボンたちも我が国でかつて経験したことである。現代のベッテルハイムたちは、聖書翻訳の働きで、宣教の第一線に立つという思いをもつて、この危険がいっぱいの働きに、喜びと誇りをもつて取り組んでいるのである。

総主事室

「記念基金」へご参加を

佐藤邦宏

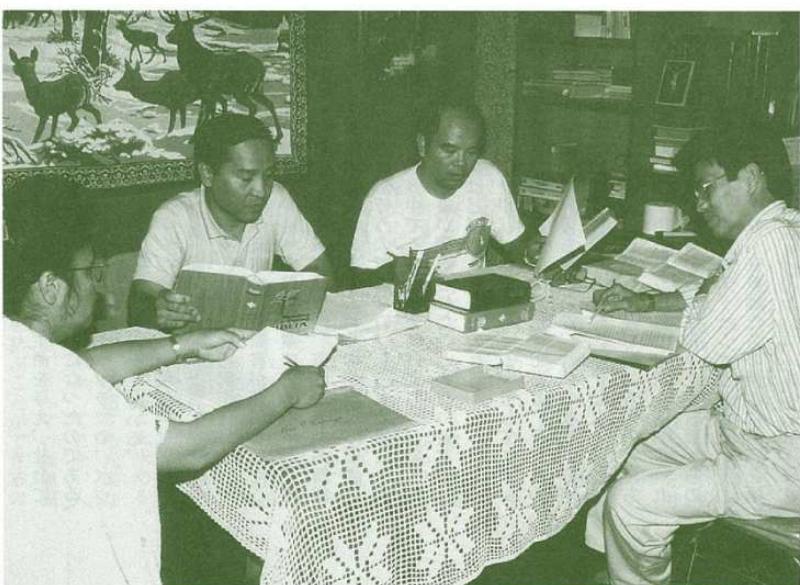
費や管理費は、できるだけ資産買戻収入、それに、このための献金や基金で賄おうというのが、世界的に聖書協会の考え方です。歐米では、伝統的に「遺贈」つまり東洋諸国からも代表者が招かれていますから、また世界的な変化を見ることができます。そのためには、聖書の便読ができるだけ求め易いものにしなければなりません。この矛盾する課題を解決するのは容易ではありません。

聖書の便読に、スタッフの入件費をできるだけ反映させず、人件費を設定し

ています。その中には、「ご遺族がお寄せくださった分も含まれています。このようなご献金は、将来にわたり聖書普及事業を継続できることでもありますから、大切などだと考えております。ご遺族がお寄せくださった分も含まれています。このようなご献金は、将来にわたり聖書普及事業を継続できることでもありますから、大切などだと考えております。ご寄贈の方個別に基金としますが、我が国では、「遺言」以外の「遺贈」には、税制の問題もあります。なかなか困難な問題です。当協会では、ある程度のまとまりたござ金をくださった方々のご希望により、「記念基金」を設定され

ています。その中には、「ご遺族がお寄せくださった分も含まれています。このようなご献金は、将来にわたり聖書普及事業を継続できることでもありますから、大切などだと考えております。ご寄贈の方個別に基金としますが、我が国では、「遺言」以外の「遺贈」には、税制の問題もあります。なかなか困難な問題です。当協会では、ある程度のまとまりたござ金をくださった方々のご希望により、「記念基金」が設定され

ています。その中には、「ご遺族がお寄せくださった分も含まれています。このようなご献金は、将来にわたり聖書普及事業を継続できることでもありますから、大切などだと考えております。ご寄贈の方個別に基金としますが、我が国では、「遺言」以外の「遺贈」には、税制の問題もあります。なかなか困難な問題です。当協会では、ある程度のまとまりたござ金をくださった方々のご希望により、「記念基金」が設定され



イロカノ語聖書(ライリビン)の翻訳をする翻訳者たち 写真提供/UBS

聖書と女性

金 纓

エッセー

⑧

私はジュネーブにあるWCC（世界教会協議会）で働いていたとき、アフリカのマダガスカルの東北にある小さな島国、モーリシャスから来た同僚の部屋にある地図を見て大変なショックを受けた。それは私たちがいつも見慣れている地図と上下が逆さまになつていて、アジアやヨーロッパ、それに北アメリカ大陸が下にあり、アフリカ、南アメリカ、オセアニアが上にあるものだつた。

なるほど、こんな地図があつても不思議ではないはずである。地球は丸いのだし、広い宇宙のどこから見るかによって上になつたり下になつたりするはずなのに、人間はいつからか地球の北と南をはつきり決めて、その地図によつてのみ世界を見てきたのではないだろうか。そして何千年の間、このような世界観が定着し、北（上）の人は南（下）の人の物や生命までも奪つて生きることを、当たり前に思うようになつたのである。彼のように南半球に住んでいる人にとって、いつも下にいるという意識はおかしいとの問題提起で、彼はこのような地図を作つたのであつた。今盛んに調われている南北の経済不公平の問題も、このような世界観ないし価値観の是正なしでは解決できないと思った。

最近、世界のいたるところで、逆さまの神学が起り、注目されるようになつた。ラテンアメリカの解放の神学をはじめ、北アメリカの黒人神学、韓国の民衆（ミンジュン）神学、そして女性神学などがその良い例である。これらの新しい神学は、いずれも今までの神学や教会の中で長い間無視され、差別されてきた人たち、すなわち、貧しい者、黒人、民衆、女性たちが、抑圧された者の視点から聖書を読み、自分たちの歴史や経験で出会つた神を語ることを、その出発点としている。そして、今までの西欧の男性中心の、いわゆる伝統神学が

見落とした大事な事柄を指摘し、これらの從来の神学やそれを支え、またそれによつて支えられてきた教会に対して、多くのチャレンジをしているのである。

女性神学でもつとも重視されるのは、言うまでもなく「女性の目で聖書を読む」ことである。今までのキリスト教の歴史の中で、あまり注目されたことのなかつた隠された女性の話を掘り起こし、また女性を不当に扱つたり、歪曲した聖書の個所を女性の立場で再解釈し、読み直すのである。それによつて今まで見えなかつた聖書の真理が、よりはつきりと示される場合が多い。なぜならイスラエルの神は、虐げられたエジプトの奴隸であつたイスラエルを自分の民として選んだ神であり、イエスは貧しい人、病める人、罪人、弱い者、女性たちを大事にし、その人たちの救いに関心があつた方であるからだ。

旧約聖書のハガルやラハブ、ルツは異邦の女性たちであつたが、神と会つて眞実な関係を結び、自ら救いの歴史に参加した人たちであった。また出エジプトを導いたモーセの誕生に際して、エジプトの助産婦たち、モーセの姉と母、そしてファラオの王女など女性たちの活躍はめざましい。士師記に出てくる、くやしい死を遂げ、なお忘れられたレビ人の妻やエフタの娘の話では、彼女たちが家長的文化の犠牲者であつたことが良く分かる。

新約聖書を女性の目で読むと、いかに女性がイエスの教えに応えたか、そしてその死と復活の証人になつたかがはつきりしている。ヨハネによる福音書の四章に登場する名もないサマリアのシカルの女性は、最初の宣教者になり、またマグダラのマリアは復活されたイエスに最初に会つてその証人となつた。その女性たちが教会の組織化に伴つていかに教会の中心から周辺に追いやられたかを研究したフィオレンツァの『彼女を記念して』は、女性の立場で聖書を読むすぐれた著作である。

このようにして女性たちが、女性を抑圧してきた聖書の記事やその解釈に対して否を唱え、自らの目で聖書を読むことによつて、聖書が女性をはじめとする弱い者を解放する書物として、救いの書物であることを再発見するのである。



金 纓（キム ヨン）
1948年、韓国釜山に生まれる。
世界教会協議会（WCC）スタッフを経て、
現在、日本キリスト教団豊島岡教会牧師。

歴史接写

田辺元明 —— バイブル・パン

前日本聖書協会 総主事

戦後いち早く着手した口語聖書の翻訳が完成したのは、新約が一九五四（昭和二九）年、旧約が五年でした。当時、この口語聖書をあまねく日本中に頒布することが、私たちに与えられた大きな課題でした。それまでの聖書の頒布経路は、教会を通してか、聖書普及員（ゴルボーター）によるものが主でしたが、職員一同知恵を絞り考えたのが、第三の流通経路として、全国の書店を通じて頒布することでした。この考えは、米国聖書協援により購入することになりました。

ところが当時の日本の自動車産業はまだ夜明け前で、パン型の車は生産されていない時代でした。本格的な乗用車トヨタ・クラウンが出来たのは昭和三六年頃です。やむなく、小型トラックの軽体のみを購入し、その上に手作業で架装し、パンタイプの車を作りました。その代わり、設備は凝つたもので、後部には聖書の陳列棚を設け、野外での映画映写用として百ボルトの電源が使えるよう発電機も設備いたしました。車自体の性能は、現代の車と比較すると雲泥の差で、最高時速はせいぜい五十キロで、七十キロぐらい出すと車そのものが激しく振動を起こすというものがでした。もちろん、今のような高速道路もなく、道路の舗装も市街地だけだったので、この位で十分だったと思います。ただし、車の故障にはいつも悩まされ、イヤのパンクは日常茶飯事のことでした。自分で応

急修理をしながら全国を走っておりました。このように、昭和三十年十月頃からバイブル・パンが活躍し、各都市の一番大きな書店を訪問して、聖書を書棚に置いていただきました。巡回、夜は、あらかじめ折衝しておいた教会、学校を訪れ、十六ミリ映画「聖書の歴史」（米国聖書協会製作）を上映しながら、口語聖書の頒布をいたしました。

鎖国下にあった日本へ入国の機をうかがっていた外国の伝道団体は、まず入国の足場を当時半独立国であった琉球に作ろうと考えた。

イギリス琉球海軍伝道会はベッテルハイムを1846年琉球に派遣、彼は那覇や首里の街頭で福音を説き、迫害を受けながらも聖書を琉球語に翻訳し、1855年に香港でルカ、ヨハネ、使徒、ロマの4冊を出版した。ついで58年に漢和対訳のルカが出版された。彼はアメリカに渡って漢和対訳の四福音書の出版を志し、補訂を続けたが、彼の死後、1873年にヨハネ、ルカ、使徒の日本語訳のみウイーンで出版された。

漢和対訳のマタイ、マルコの稿本が英国聖書協会で1976年に発見されている。



バイブル・パンで口語訳聖書を全国に頒布した。1955(昭和30)年。

JBS History / Bible Van / Tanabe Motoaki

ベッテルハイムが沖縄で宣教を始めて今年が百五十年になるのを記念して、五月八日から「ベッテルハイム展」と「聖書展」が那覇で開催され、ソアもこれを機に「ベッテルハイムの業績と沖縄に思いを馳せたいと、特集を組みました。」
「現代のベッテルハイム」の島羽季義先生に筆者が初めてお会いしたのは、すでにヒマラヤの舟で沖縄と聖書の翻訳を始めたばかりの十一年が過ぎた八〇年頃でした。電気も電話もないところで生活し、聞いたこともないカリン語という言葉に聖書を翻訳されていると聞いて驚いたものであります。昨年ついに新約聖書の翻訳を完成了。二十五年の歳月が流れ、おのクリスチャンは三百三十人になっていました。まさに生涯をかけた仕事です。物静かな先生のどこにそのゆるやかな情熱があるのかあります。しかも今も想像を超えるものがいます。しかしそれを超える伝道への召命感と情熱が、それを遂行させていくのだと思います。

「現代のベッテルハイム」の島羽季義先生に筆者が初めてお会いしたのは、すでにヒマラヤの舟で沖縄と聖書の翻訳を完成了。二十五年の歳月が流れ、おのクリスチャンは三百三十人になっていました。まさに生涯をかけた仕事です。物静かな先生のどこにそのゆるやかな情熱があるのかあります。しかも今も想像を超える伝道への召命感と情熱が、それを遂行させていくのだと思います。

